



株主通信

第89期報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

株式会社ジャックス

証券コード:8584





取締役会長(代表取締役)CEO
板垣 康義



取締役社長(代表取締役)COO
山崎 徹

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルスの感染拡大により、各地で大きな影響が出ています。一日も早い収束と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

ここに、株式会社ジャックス第89期(2019年4月1日～2020年3月31日)株主通信をお届けいたします。

皆様には、より一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

第89期の経営成績

中期経営計画「RAISE 2020」の2年目となった第89期の連結業績は、国内事業が堅調に推移したことから、増収増益となりました。国内事業では、2019年10月からの消費税増税の影響を受けながらも、住宅関連やオートローンを中心にクレジット事業が順調に推移しました。また、底堅い需要に支えられたファイナンス事業を含め、国内事業全てで営業収益が増加しました。海外事業では、フィリピン現地法人への出資比率を引き上げ、海外4社の全てを連結子会社としました。インドネシアでは、新車販売の大幅な落ち込みにより取扱いは減少しましたが、営業総債権残高の着実な積み上げにより、海外各社の営業収益は増加しました。これにより、国内・海外のグループ全社で増収を果たしました。

営業費用は、取扱高の拡大に連動した金融費用や販管費、営業総債権残高の拡大により貸倒関連費用を中心に増加し

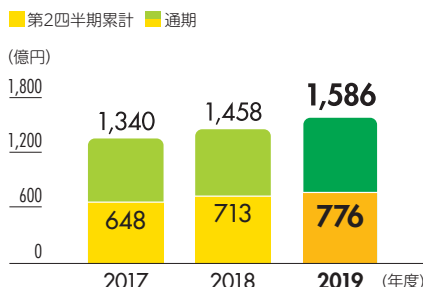
ましたが、営業収益の増加により、連結経常利益は過去最高となる167億円、親会社株主に帰属する当期純利益は107億円となりました。

第90期の見通し

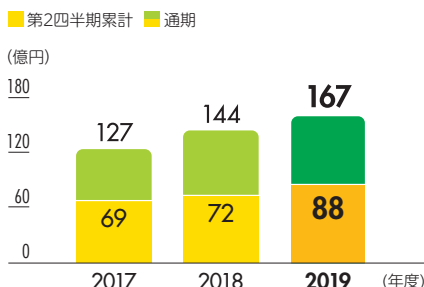
中期経営計画「RAISE 2020」最終年度となる第90期は、これまでのさまざまな取り組みの総仕上げの期であると同時に、次期中期経営計画を策定し、その達成へ向けた準備や態勢を整えていく重要な一年となります。新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内・海外ともに非常に厳しい展開が予想されますが、グループの総力を結集して、この難局を乗り越え、さまざまな施策を着実に実行していきます。

なお、新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響について、現時点での合理的な算出が困難であるため、第90期の予想は未定としております。今後、合理的な算出が可能となりました段階で、速やかに公表いたします。

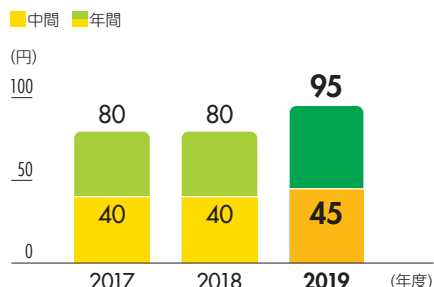
連結営業収益



連結経常利益



配当



(注)当社は、2017年10月1日付で株式併合(5株を1株に併合)を行っています。株式併合以前の数値は、比較しやすいよう株式併合を考慮して換算しています。



「RAISE 2020」の施策と成果



2018年4月にスタートした中期経営計画「RAISE 2020」の最終年度を迎えるにあたり、これまでの施策とその成果について山崎取締役社長(COO)に聞きました。

Q1 全体の進捗状況をお聞かせください。

国内事業は、クレジット事業やファイナンス事業を中心に取扱高、営業収益ともに拡大し、既存事業の拡充を順調に進めています。また海外事業も、フィリピン現地法人JFP^{※1}の連結子会社化、カンボジアJFC^{※2}の単年度黒字化達成などの成果を上げています。各国の規制強化や市場環境の変動リスクなどの要因により、成長スピードは当初の想定通りではないものの、直面する課題に対して引き続き適切に対策を講じること、着実な成長へとつなげていきます。

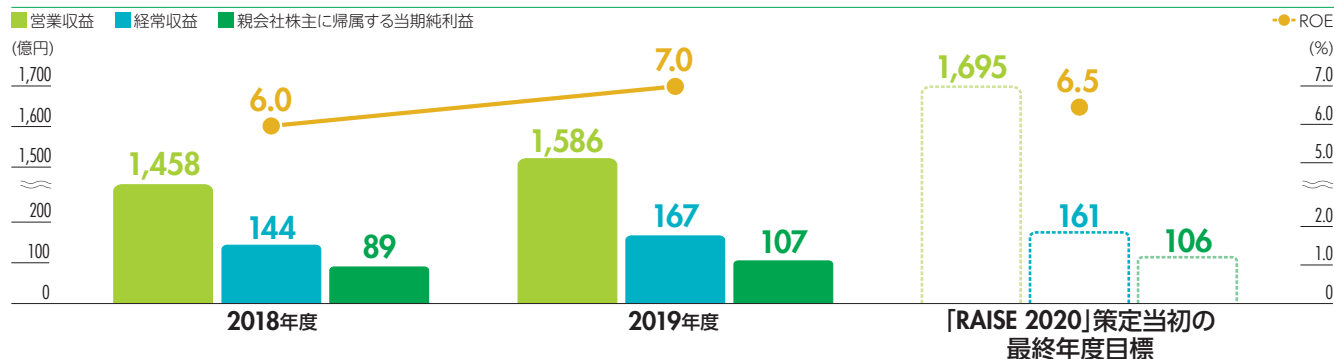
※1 JACCS FINANCE PHILIPPINES CORPORATION

※2 JACCS FINANCE (CAMBODIA) PLC.

Q2 中期経営計画のこれまでの施策と成果についてお聞かせください。

金利の低位推移やEC市場の拡大といった国内の市場環境を背景に、Webを経由した申込機能の拡充を図り、加盟店や顧客の利便性向上に注力しました。その結果、オートローンや保証商品を中心に取扱高が順調に拡大しています。さらに、昨年10月にスタートした政府の「キャッシュレス・消費者還元事業」を追い風に、Visa/Mastercard[®]のアクワイアリングに加え、新たに国内QRコード決済の取次業務を開始したことで、各種決済サービスの取次実績も堅調に推移しました。当

連結業績の推移



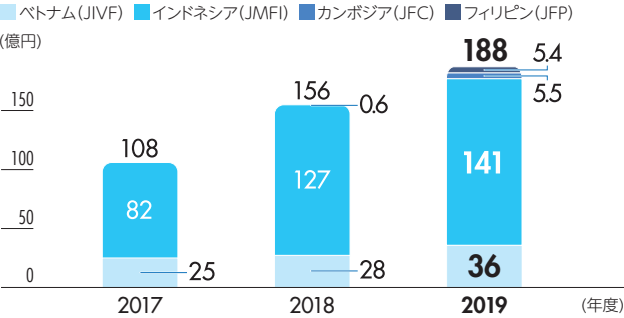
社グループが保有するマルチ決済機能の拡充とMUFGグループとの連携強化により、国内事業の持続的な成長を図っていきます。

成長ドライバーである海外事業では、海外グループ会社に対する人事・経理・財務面の支援態勢の整備やガバナンスの強化に努めてきました。また、海外4か国のグループ会社全てを連結子会社としたことで、海外事業の営業収益は188億円まで拡大しました。今後も国内事業で培ってきたノウハウ

重点方針	主な進捗
国内事業の持続的拡大	●クレジット事業・ファイナンス事業を中心に国内既存事業が堅調に推移し、連結業績をけん引 ●国内QRコード決済の取次業務を開始し、マルチ決済機能・サービスを強化
海外事業の成長拡大	●海外4社の全てを連結子会社化し、海外事業の成長・拡大へ向けて着実に前進 ●JFC※2は組織力を強化した結果、営業開始2年目で単年度黒字化を達成
生産性の向上と成長基盤の強化	●カスタマーセンターで本格稼働したAI技術が高い精度を発揮し、生産性向上と業務効率化を加速 ●Web申込機能のさらなる拡充によって、競争力を強化 ●JWP※3の推進・人事制度の拡充を図り、従業員の多様な働き方を支援

※3 ジャックス ワーク・ライフ・バランス プロモーション

海外関係会社営業収益



と、これまでの海外事業での経験を活かし、しっかりと利益貢献できるように経営体質の強化を図っていきます。

また、昨年3月にカスタマーセンターへAI技術を導入し、顧客対応品質の向上やオペレーターへの教育期間の短縮に高い効果を上げています。引き続き、AIやRPAの導入など業務のIT化を進め、生産性と業務効率の向上を図っていきます。

Q3 「RAISE 2020」の最終年度に向けて、意気込みをお聞かせください。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市場環境や事業の見通しは不透明な状況が続きます。こうした状況においても、これまでグループ一体となって取り組んできたさまざまな施策の効果を最大限に発揮し、「日本・ASEANをメインフィールドとし お客様に選ばれる先進的なコンシューマーファイナンスカンパニー」という中期ビジョンの実現に向けて、総力を挙げて取り組んでいきます。

● 連結決算ハイライト

	2018年度	2019年度
損益状況 (各年度の4月1日～3月31日の1年間)		
取扱高 (百万円)	4,559,202	4,981,508
営業収益 (百万円)	145,836	158,610
経常利益 (百万円)	14,448	16,700
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	8,955	10,732
配当金 (円)	80	95

キャッシュ・フロー (各年度の4月1日～3月31日の1年間)

営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△309,890	△308,473
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△8,644	△11,871
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	329,161	326,484

財政状態 (各年度の3月31日時点)

総資産 (百万円)	3,749,167※	4,231,590
純資産 (百万円)	156,738	162,889

※従来、信用保証割賦売掛金、信用保証買掛金を連結貸借対照表の資産・負債に両建て計上していましたが、当連結会計年度より集金を伴わない保証債務は計上しないことに変更いたしました。なお、当該会計方針の変更は、遡及適用されています。

●事業部門別の概況(個別)

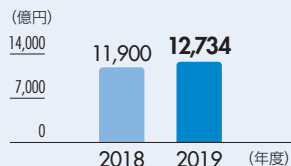


クレジット事業

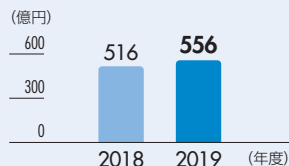
ショッピングクレジットは、主要業種である二輪車や家電、住宅関連商品の堅調な推移によって、取扱高・営業収益が増加しました。

オートローンは、輸入車マーケットでの各種施策の展開や提携先との連携強化、中古車マーケットでの大型中古車販売店との関係強化や地域販売店との取引深耕が取扱高の底上げにつながり、取扱高・営業収益が増加しました。

取扱高



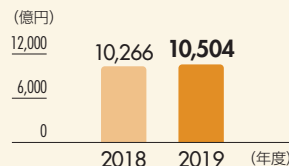
営業収益



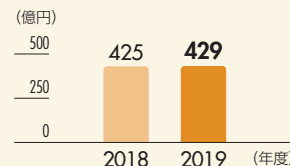
カード事業

カードショッピングは、家電量販店およびディスカウントストア等の提携カードの取扱いがけん引し、取扱高が増加しました。また、リボショッピングの利用促進等、各種施策を継続的に行うとともに、キャッシュレス・消費者還元事業の市場拡大を追い風に、アクワイアリング加盟店を拡大した結果、営業収益が増加しました。

取扱高



営業収益

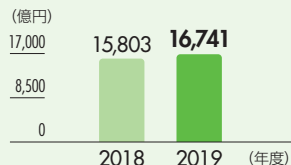


ペイメント事業

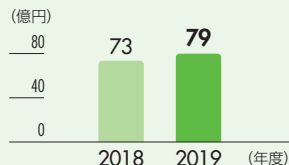
家賃決済関連商品は、業務提携企業からの紹介によって不動産管理会社との提携数が増加しました。また、提携先の早期稼働に向けた推進強化に加え、既存提携先の取扱件数拡大により、取扱高・営業収益が増加しました。

集金代行業務は、家賃やスポーツクラブ会員費の安定的な継続課金の取扱いに加え、新規提携先の拡大により、取扱高・営業収益が増加しました。

取扱高



営業収益

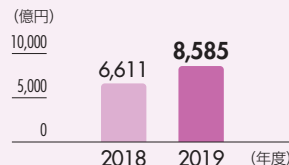


ファイナンス事業

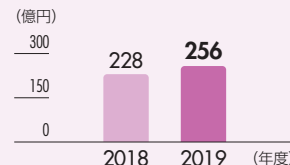
住宅ローン保証は、新商品の導入や営業強化により取扱いシェアが拡大しました。また、新規提携先での取扱いの上積みを図ることで、取扱高・営業収益が増加しました。

銀行個人ローン保証は、株式会社三菱UFJ銀行の主力Web商品のキャンペーン施策や地方銀行のニーズに合った商品提案の継続と、株式会社ジェーシービーの信用保証事業承継効果により、取扱高・営業収益が増加しました。

取扱高



営業収益



ジャックスの ESG



健康経営

当社は、健康経営基本方針に基づき、ワーク・ライフ・バランスの浸透と多様な働き方の実現に取り組んでいます。

従業員の健康管理を推進

当社では、従業員の健康保持・増進の取り組みの一環として、健康ポータルサイト「KenCoM」を導入し、健康に役立つ情報やウォーキングイベント等への参加機会を提供しています。また、治療をしながら安心して働き続けることができるように、がん治療休暇を新設するなど、各種制度の見直しを進めるとともに、「ジャックス ワーク・ライフ・バランス プロモーション」の浸透も図っています。このような取り組みが評価され、2020年3月に経済産業省から「健

康経営優良法人～ホワイト500～」に3年連続で認定されました。2020年7月から「健康経営推進室」を設置し、従業員の心とからだの健康づくりのさらなる充実・推進に取り組んでいきます。



健康ポータルサイト「KenCoM」



2020
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

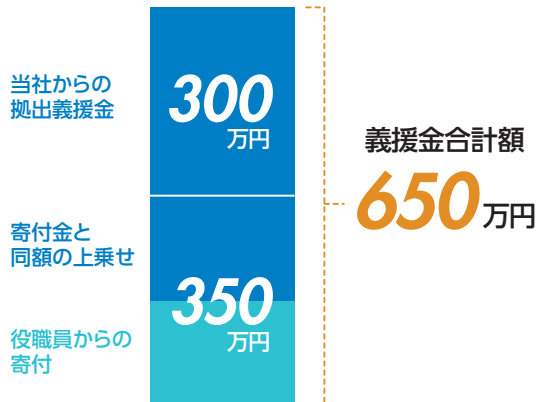
社会貢献活動

当社では、全役職員が自発的に社会貢献活動に参加する企業風土づくりを進め、さまざまな活動を実施しています。

台風19号に伴う災害の被災地へ 義援金を寄付

当社は、2019年10月に発生した台風19号で被災された方々への支援や、被災地の復旧にお役立ていただくために、日本赤十字社を通じて、650万円を被災地に寄付しました。この義援金の一部は、当社グループ役職員有志から募った金額と同額を会社が上乗せするマッチングギフト方式で拠出しました。

義援金内訳



社員カードを利用した 社会貢献活動を実施

当社は、ジャックス社員カードに付帯されているポイントの一部と、その同額を会社が拠出することで、社会貢献活動資金を捻出しています。毎年、全役職員を対象に寄付先の推薦と投票を行い、獲得投票数の割合に応じて寄付金額を決定しています。2019年度の社会貢献活動資金は、合計640万円相当額となり、小児がんの子どもたちを支援している認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワークをはじめ、13団体に寄付しました。



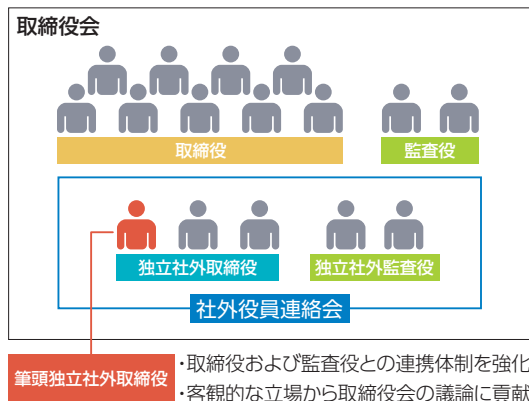
ゴールドリボン・ネットワークへの目録贈呈

コーポレートガバナンス

当社では、持続的な成長と企業価値の向上を実現するため、ガバナンスの実効性と経営の透明性を一層高めていきます。

社外役員の機能強化へ向けた取り組み

当社は、コーポレートガバナンス体制のさらなる強化を目指して、2019年10月に独立社外取締役3名のなかから、互選によって筆頭社外取締役を選定しました。筆頭独立社外取締役は、社外取締役と社外監査役で構成される社外役員連絡会の議長を務め、社外役員の情報交換や認識共有を促進し、意見を集約したうえで、経営陣に報告・協議する役割を担っています。



また、総務部内の取締役会事務局が社外取締役を、監査役会事務局が社外監査役を、それぞれ全面的にサポートする体制を整えています。必要に応じて取締役会等の開催前に事前説明を実施するほか、適宜情報提供を行います。当社業務に対する理解を深めるため、2020年2月に社外役員が国内の現場を視察し、審査およびカスタマー部門のセンター長、現場社員との意見交換などを実施しました。社外役員のモニタリング機能を一層高められるように、引き続きサポート体制を強化していきます。



意見交換会

社外役員による現場視察

● 会社概要/株主の状況

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	株式会社ジャックス
設立年月日	1954年6月29日
資本金	161億3,818万円
本店所在地	北海道函館市若松町2番5号
本部所在地	東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
従業員数	2,692名

連結子会社 (2020年3月31日現在)

- ジャックスリース(株)
事業内容：リース
- ジャックス・トータル・サービス(株)
事業内容：損害保険・生命保険の保険代理店
- ジャックス債権回収サービス(株)
事業内容：「債権管理回収業に関する特別処置法（サービサー法）」に基づくサービサー
- ジャックス・ペイメント・ソリューションズ(株)
事業内容：集金代行・後払い決済
- JACCS International Vietnam Finance Co., Ltd.(略称 JIVF)
事業内容：二輪・四輪車等ローン、クレジットカード
- PT JACCS MITRA PINASTHIKA MUSTIKA FINANCE INDONESIA (略称 JMFI)
事業内容：二輪・四輪車等ローン
- JACCS FINANCE (CAMBODIA) PLC.(略称 JFC)
事業内容：二輪車ローン
- JACCS FINANCE PHILIPPINES CORPORATION (略称 JFP)
事業内容：四輪車ローン

株式分布状況 (2020年3月31日現在)



(注)個人・その他には自己株式508千株 (1.45%)が含まれております。

取締役・監査役 (2020年6月26日現在)

取締役会長 (代表取締役) CEO	板垣 康義	取締役 (社外)	原 邦明
取締役社長 (代表取締役) COO	山崎 徹	取締役 (社外)	鈴木 政士
取締役副社長 (代表取締役)	菅野 峰一	取締役 (社外)	西山 潤子
取締役専務執行役員	千野 仁	常勤監査役	吉野 英雄
取締役常務執行役員 CFO	齊藤 隆司	常勤監査役	下河 照和
取締役常務執行役員	尾形 茂樹	監査役 (社外)	村上 眞治
取締役常務執行役員	大島 健一	監査役 (社外)	小町谷 悠介
取締役常務執行役員	村上 亮		

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	78,910,000株
発行済株式総数	35,079,161株
単元株式数	100株
株主数	6,438名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三菱UFJ銀行	7,015	20.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,661	7.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,419	4.10
第一生命保険株式会社	1,359	3.93
ジャックス共栄会	1,357	3.92
明治安田生命保険相互会社	1,275	3.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	919	2.66
ジャックス職員持株会	881	2.54
日本生命保険相互会社	588	1.70
三菱UFJ信託銀行株式会社	564	1.63

- (注) 1.持株比率は、自己株式 (508千株) を控除して計算しております。
2.持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.jaccs.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

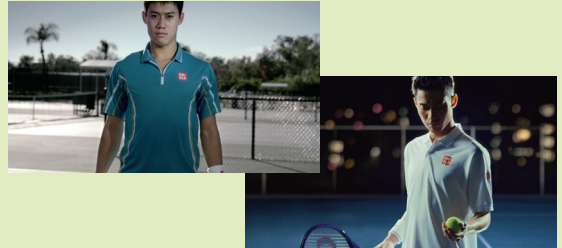
- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311 (代)

当社ホームページをご覧ください。 <https://www.jaccs.co.jp/>

新CMオンエア中



「さあ、未来へ」篇(2020年3月24日～)

2013年から8年にわたって錦織選手とともに創り上げてきたCMが回想される今作。どんな時でも地道に努力を積み重ねてきた錦織選手の姿を通して、未来に挑戦する私たちの姿勢を表現しています。錦織選手とジャックスの、これまでとこれからを、ぜひご覧ください。



CMサイトはこちら

Cover Story

クレジットカードは、どの国でも同じサイズだということをご存知ですか？ 今号の表紙では、3枚のジャックスカードを起点に、国際規格で定められた黄金比の長方形を展開することで、お客様の生活と当社事業がさらに上昇していく様子を表現しました。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

